

12月定例会で審議した議案、請願の結果

議案、請願の件名	議決結果	会派ごとの賛否					
		清流 6人	サン 6人	共産 3人	公明 2人	絆 2人	無会派 金 清 野 崎
市道							
市道の路線変更	原案可決	○	○	○	○	○	○
市道の廃止	原案可決	○	○	○	○	○	○
市道の認定	原案可決	○	○	○	○	○	○
条例							
市営駐車場条例を廃止する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○
一般職職員の給与に関する条例等の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○
市長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	×
議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	×
職員の育児休業等に関する条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○
公民館利用条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○
ひとり親家庭等の医療費の支給に関する条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○
特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○
支所設置条例等の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○
人事案件							
人権擁護委員候補者の推薦(土屋米男氏)	同意	○	○	○	○	○	○
人権擁護委員候補者の推薦(多田みどり氏)	同意	○	○	○	○	○	○

清流：清流クラブ サン：サンライズ秩父 共産：日本共産党秩父市議会議員団
公明：公明党 絆：市民の会・絆 無会派：会派に属さない議員

○：賛成 ×：反対 ○/○：賛成人数/会派人数
「若者も高齢者も安心できる年金制度」を国の責任で創設するための意見書提出の請願(趣旨採択)は、サンライズ秩父6人のうち1人が賛成(新井重一郎議員が賛成)という結果になったため、1/6と記載しております。

議案、請願の件名	議決結果	会派ごとの賛否					
		清流 6人	サン 6人	共産 3人	公明 2人	絆 2人	無会派 金 清 野 崎
29年度補正予算							
一般会計補正予算(第4回)	原案可決	○	○	×	○	○	×
国民健康保険特別会計補正予算(第2回)	原案可決	○	○	○	○	○	○
介護保険特別会計補正予算(第2回)	原案可決	○	○	○	○	○	○
下水道事業特別会計補正予算(第2回)	原案可決	○	○	○	○	○	○
農業集落排水事業特別会計補正予算(第2回)	原案可決	○	○	○	○	○	○
戸別合併処理浄化槽事業特別会計補正予算(第2回)	原案可決	○	○	○	○	○	○
駐車場事業特別会計補正予算(第2回)	原案可決	○	○	○	○	○	○
市立病院事業会計補正予算(第2回)	原案可決	○	○	○	○	○	○
議員提出議案							
憲法9条を守り生かして、戦争しない日本を求める意見書	否決	×	×	○	×	×	○
介護職員の労働条件改善のため介護報酬の引き上げを求める意見書	原案可決	○	○	○	×	○	○
義務教育における保護者負担の解消を求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○
手話言語条例	原案可決	○	○	○	○	○	○
議会の議員の定数を定める条例の一部改正	継続審査	○	○	○	○	○	○
請願							
秩父ミュージックパーク内に天文施設の設置方について	趣旨採択	○	○	○	○	○	○
国民健康保険の県単位化にあたっての請願(趣旨採択)	否決	×	×	×	×	×	○
国民健康保険の県単位化にあたっての請願	不採択	×	×	×	×	×	○
「若者も高齢者も安心できる年金制度」を国の責任で創設するための意見書提出の請願(趣旨採択)	否決	×	1/6	×	×	×	○
「若者も高齢者も安心できる年金制度」を国の責任で創設するための意見書提出の請願	不採択	×	×	○	×	×	○

意見書

12月定例会の最終日に、議員提出議案の意見書3件が提出され、審査の結果、2件が原案のとおり可決されました。

可決された意見書は、内閣総理大臣をはじめ、関係行政庁等に送付されました。内容については、次のとおりです。

介護職員の労働条件改善のため介護報酬の引き上げを求める意見書

国においては、次期改定にあたっては、介護報酬の引き上げとともに、国庫負担割合を引き上げるよう強く要望する。

義務教育における保護者負担の解消を求める意見書

1 義務教育無償の原則にもとづき、義務教育期間中の教育費負担を解消すること。

2 就学援助制度に対する国庫負担制度を元に戻し、対象を生活保護基準の1.5倍まで広げ、支給額も増額するとともに、教育扶助の額も同様に引き上げること。

インターネットで議会録画中継を見る!

市議会では、本会議の様子をインターネットで録画中継にて配信しています。パソコンのほか、スマートフォンやタブレットを使って自宅などで、いつでも好きなときに見ることができます。

※録画中継は、各日の会議終了の概ね7日後から公開しています。

スマートフォンやタブレットで視聴できます。



一般質問

市政への質問

一般質問は、市政に関わる市の考えを聞いたり、議員が政策を提案したりするものです。各議員の質問項目は下記のとおりです（質問順に掲載）。

① 小櫃 市郎 (清流クラブ) 1 清流クラブ30年度政策提言 2 行財政改革 土地開発公社設立の検討 3 総合支所市民サービス 4 龍勢まつり国指定文化財登録の推進	⑦ 福井 貴代 (公明党) 1 子ども医療費助成制度の拡充 2 民生委員の担い手の確保と支援 3 新たな住宅セーフティネット制度	⑬ 浅海 忠 (市民の会・絆) 1 通学交通費補助の積極的拡大 2 市立病院の充実と地域医療連携 3 地籍調査の推進 4 国道・県道の改良要望の継続
② 荒船 功 (清流クラブ) 1 公共施設・まちづくり政策 2 医療・福祉・健康政策 3 原谷保育所跡地	⑧ 新井 重一郎 (サンライズ秩父) 1 高齢者福祉の充実に向けて 2 国民健康保険 3 教育・教育行政・保育	⑭ 江田 治雄 (市民の会・絆) 1 農地基盤整備の推進 2 清流園の現状と今後の運営 3 学童保育室の現状は 4 大滝温泉浴場の営業時間延長
③ 高野 宏 (清流クラブ) 1 教育・子育て政策 2 伝統芸能・文化伝承政策 3 マイナンバー制度 4 パーキング・パーミット制度	⑨ 五野上 茂次 (サンライズ秩父) 1 企業誘致 2 教育環境の整備 3 芝桜公園の管理体制 4 山間地域の過疎対策等	⑮ 大久保 進 (公明党) 1 自転車保険加入義務化の対応 2 選挙手帳作成 3 授業にパラリンピック競技の導入
④ 赤岩 秀文 (清流クラブ) 1 市指定文化財の保存状況の確認 2 道路環境の整備 3 道の駅運営会社の統合効率化	⑩ 竹内 勝利 (サンライズ秩父) 1 道路政策 2 有害鳥獣対策	⑯ 金崎 昌之 1 地上設置型太陽光発電設備設置規制条例 2 介護職員相談窓口の設置を 3 不登校といじめの実態と対策 4 蒔田分譲地に子どもの遊び場を
⑤ 黒澤 秀之 (清流クラブ) 1 秩父創生に向けた現状と将来展望 2 企業誘致の今と既存地場企業の支援策 3 新たな手法を活用した秩父市の歳入確保	⑪ 出浦 章恵 (日本共産党秩父市議会議員団) 1 小・中一貫校導入は慎重に 2 中学生に総合学習で自衛隊勧誘はあるか 3 はんじょう博と自衛隊装甲車の関連は 4 荒川新そばまつりにラッパ隊は必要か	⑰ 山中 進 (日本共産党秩父市議会議員団) 1 障がい者支援 2 子育て支援 3 地域支援
⑥ 斎藤 捷栄 (日本共産党秩父市議会議員団) 1 国民健康保険税	⑫ 清野 和彦 1 首都直下型地震の被害想定と市の役割 2 事業・業務継続計画の更新と策定支援 3 レジリエンスの構築・地域経済・シェア 4 山岳地を利用したスポーツ等への対応	

※市議会ホームページのインターネット中継で、一般質問の様子をご覧いただけます。

清流クラブ政策提言



清流クラブ 小櫃 市郎

●行財政改革（用地先行取得に向けた土地開発公社等設立の検討）

問 インフラ整備事業をスムーズに進めるに当り、必要な用地を先行取得できないか。相続放棄される土地（主に山林）の寄附等について市が受け皿になれないか。

答 平成2年以降から現在まで地価の下落が継続している状況の中で、先行取得することは評価損が起きることが想定されるため難しい状況である。相続放棄される山林等は、利活用できる財産を受け入れられている現状に照らし合せ、寄附の申し出があった時点で慎重に協議しながら今後もすすめていく。

●総合支所における市民サービス

問 各総合支所の市民の利用状況および市民サービスを低下させない職員配置は。

答 各総合支所の職員数は、支所長を含め吉田21人、大滝19人、荒川20人。各総合支所の利用状況は、窓口での相談など数字では把握できないものもあるが、戸籍・住民票などの証明発行件数は、吉田

3372件、大滝518件、荒川3163件となっている。人口減少により総合支所のみならず全体的な職員の定員適正化も進めざるを得ない中では、専門性、特殊性を有する業務については、徐々に本庁一括処理への移行を図る必要も生じてくる。

●龍勢まつりの国指定文化財登録に向けた積極的な推進

問 「棕神社の龍勢」の国指定に向けた取組みは。

答 国の指定に向けた取組み等を通して、市を挙げて文化財を保護する意識の高揚に尽力する。



国重要無形民俗文化財指定へ

一般質問

健康マイレージの導入



清流クラブ あらぶね
荒船 いさお
功

問 健康マイレージの導入については、29年3月定例会で、30年度から導入を目指して、具体的な案を検討していくとの方針が示されているが、方向性が固まっているのか。

答 健康マイレージについては、これまで5回にわたり、庁内等関係各課からなる検討会議で協議して、準備を進めている。現時点での内容は、名称「秩父市健康マイレージ」、ポイントがつく事業として想定しているのは、各種がん検診・健康教室・茶トレ講習会・ポテくまくん健康体操への参加・温水プールでの各種教室・文化体育センターでの各種教室への参加・いってんべえウォーキングでの完歩などがある。事業の趣旨から、必ず健康診断や人間ドック、かかりつけ医等の「検診」を受けることを条件とする。それぞれの対象事業でマイレージカードを交付し、その後、他の対象となる事業に参加することによりポイント(スタンプ)を貯め、10個貯まったら参加賞とマイレージカードを交換できる。さらに締め切り後に抽選会を開催し、賞品が当た

る内容で準備している。対象者は35歳以上の市民で、ポイントを貯める期間は年度末までとして、マイレージカードの交付は一人一枚までとする。事前に必要な費用は、12月定例会で審議をお願いし、30年度の費用は、3月定例会に提出していく予定である。なお、市民への事前説明等が必要となるので、3月定例会より前に広報活動を進めていく。



秩父市版健康マイレージの対象となる茶トレ講習

子育て・文化伝承政策



清流クラブ たかの
高野 ひろし
宏

問 学童保育室の現状と今後は。

答 学童保育室の設置状況は、公立学童保育室14施設、民間学童クラブ4施設で、民間学童クラブに対しては、秩父市放課後児童健全育成事業委託要綱により、開設日数・登録児童数等に応じ、国の運営費補助基準額と同額を委託料とし、運営費の助成をしている。学童保育室については、5年間を計画期間とする市の「子ども子育て支援計画」に、児童の見込みと供給体制、定員確保の目標値を定め放課後児童対策推進に努めている。児童福祉法の改正により対象が6年生までに拡大され、利用者が増加傾向にあり、民間学童クラブとの連携により、受け入れ態勢の拡充に努め子育て支援の充実を図っていく。

問 病中病後児保育について、現状と今後の方向性は。

答 病中病後児保育については、これまでも検討を重ねてきたが、実施の目途がたっていない。今後さまざまな観点から検討をしていきたい。

問 市独自の子育て支援策は。
答 現在、市の子育て支援事業は、

「学校給食費助成金支給事業」「多子世帯保育料軽減事業」「乳児おむつ購入費助成事業」がある。今後、他市町村の動向も踏まえ、財政状況を勘案し検討していく。

問 文化庁の補助事業「文化遺産総合活用推進事業」への考えは。
答 市指定の各祭りの笠鉦・屋台の修理を中心にこの補助制度を活用してきたが、30年度から要綱が変更され、団体の負担が増え、事業の実施が難しくなった。市の補助制度もあるが、財政状況を踏まえ今後検討していく。



文化庁の補助制度を活用し修理された三層の笠

一般質問

清流クラブ政策提言

●道の駅運営会社の統合効率化

問 市町村合併から12年が経過し、市と旧町村の各種団体はそのほとんどが合併しているなか、道の駅運営会社3社はいまだにそれぞれの経営をしている。統合効率化のメリットとして考えられるものは、財産の共有・関連施設、事業の整理・人材の確保などがある。以前も道の駅について質問したが、利益を生む施設はより多くの利益を生むべきであり、そのことが地域の活性化につながると考える。市としても今後、統合効率化を進めていくようだが、その詳細なプロセスは。

答 合併協定において、(株)龍勢の町よしだ、(株)源流郷おおたき等は、運営状況の特殊性があるため当面は現状のとおりとするとの調整方針が示されており、それぞれ経営されてきた。しかし、近年新たな私たちの道の駅が続々と設置され地域間競争が激化する中、市内の道の駅にあつては全国に先駆けて取組みを進めたため、施設の更新や修繕に多額の費用がかかっている。現在の課題は、同様の目的

清流クラブ

赤岩 秀文



業務を行っているにもかかわらず、一部職員の処遇も充分ではなく離職者も多い。職員の高齢化も進み配置換えも行いづらくなっている。今後は諸問題に対処するため経営統合に向け協議を開始する。

問 大滝トンネル開通後の大滝温泉道の駅についてはどのような経営を考えるか。

答 西関東道連絡道路のパーキングエリア的なものになるよう整備を検討する。



道の駅

- ◎文化財保存状況の確認
- ◎道の駅ちちぶ付近の渋滞対策
- ◎市道影森140号線の安全対策

秩父創生に向けた現状と将来展望

問 28年3月に策定した秩父市総合戦略（人口ビジョン）の進捗と今後の展望は。

答 国の交付金を活用した各種施策を実施してきた。今後は総合戦略の改定を毎年度行い、交付金の財源確保に努め事業を推進する。

問 28年12月に策定した秩父市生涯活躍のまちづくり基本計画（秩父版CRC基本計画）の進捗と今後の展望は。

答 総合事業は、移住希望者向けの各種施策を実施してきた。モデル事業については、拠点整備に向け関係先との協議を行っている。今後は協議がまとまり次第、事業化に向けた手続きを行っていく。

問 セーフコミュニティ推進事業の進捗と今後の展望は。

答 実態として事故やケガの件数が減少しており、意識も行政主体から地域主体へと変わりつつある。今後も共助による安心・安全なまちづくりを積極的に推進していく。

●企業誘致の現状と既存地場企業の支援策

問 企業誘致の現状は。

答 現在、複数の企業と立地に向けた交渉を行っている。

清流クラブ

黒澤 秀之



既存地場企業向けに環境配慮型の助成制度創設ができないか。

問 企業の「環境みらい資金融資制度」などを有効に活用していく。

答 県における人材育成のため国家試験・法定資格・技能検定受検料の助成制度創設ができないか。

問 各種資格・技能の取得によって、生産性の向上や労働力の確保を図るため、国や県の助成制度や他市の状況を調査・研究していく。



横断的な連携・協働による安心・安全なまちづくり

◎新たな手法を活用した市の歳入確保